

癌化学療法輸液約束処方 尿 3

癌種 根治切除不能 尿路上皮癌
レジメン名 尿 3 PEMBRO

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与時間	投与日	1クール期間
キイトルーダ	ペムブロリズマブ	PEMBRO	200mg/body	div	30分	DAY 1	21日
キイトルーダ	ペムブロリズマブ	PEMBRO	400mg/body	div	30分	DAY 1	42日

[DAY 1]

- ① NS 100ml / 15分
- ② NS 100ml + キイトルーダ 200mg or 400mg / 30分(フィルター使用)
- ③ NS 100ml / 10分 フラッシュ

【注意事項】

- ・プラチナ抵抗性尿路上皮癌に対する2nd line
- ・希釈後の最終濃度を1~10mg/mlとする。
- ・投与の際にはインラインフィルターを使用すること。
- ・投与開始前及び投与中にTSH、FT3、FT4などを定期的に測定。
- ・有害事象に対し副腎皮質ステロイドを投与する際に、HBVの再活性化に注意。

<休薬規定>

- ・AST,ALT \geq Grade3 ・間質性肺炎: G1→投与延期を検討、G2→投与延期、G3→投与中止
- ・非血液毒性 \geq Grade3 ・大腸炎、下痢: G2→投与延期(G1→再開)、 \geq G3→投与中止
- ・自己免疫疾患の発症 ・肝機能障害: G2→投与延期(ベースラインまで改善→再開)、 \geq G3→投与中止
- ・内分泌障害、副腎クリーゼ: 投与延期または中止
- ・神経毒性: G2→投与延期(ベースラインに改善→再開)、 \geq G3→投与中止
- ・皮膚毒性: \geq G3→投与延期(G1→再開)
- ・腎毒性: G2→投与延期(G1→再開)、 \geq G3→投与中止
- ・1型糖尿病、脳炎、静脈血栓症: 専門医と連携し投与中止も検討